大阪府知事 **横山ノック殿**

大 阪 市長 **磯村 隆文殿**

**釜ヶ崎反失業連絡会**

**越冬闘争実行委員会**

大阪市西成区萩之茶屋3－1－10ふるさとの家気付

**継続する「冬」に対する対策要求**

大阪市の臨時宿泊所の受付終了後、野宿を余儀なくされる労働者の数は、皆無にならないまでも大きく減少した。臨時宿泊所は大きな役割を果たしていると言える。

臨時宿泊所受付時期の釜ヶ崎の仕事量と今後一ヶ月釜ヶ崎の仕事量はさほど変わらないものと見込まれる。とすれば、臨時宿泊所の閉鎖は、再び多くの労働者を野宿へ、行き倒れ死へと追い込むものとなる。寒さもこれからである。

臨時宿泊所は閉鎖されるどころか、仕事を探すために臨時宿泊所を出たが、努力しても仕事に就けなかった労働者を対象として、「単泊」の日々新たな受付を市更相で行い、臨時宿泊所を宿泊施設として活用するべきである。

釜ヶ崎の冬は継続している。重ねて以下を申し入れる。

* 新たな受付の開始と臨時宿泊所期間延長を検討されたい。
* 早急に、ドヤ券・食券の発行を開始されたい
* 早急に、ドヤでの居宅保護を認められたい
* 緊急就労対策として東京“山谷”並みの「特出し」を実施されたい
* 以上のいずれもが実施できない場合、野宿を余儀なくされる労働者の増加に連動して、センター１階の夜間解放の時期を早められたい。

1. 就労対策を確立されたい。

* 公共工事への日雇労働者雇用を、一定割合で義務づけられたい。
* 各区に「リサイクルセンター」を設置し、釜ヶ崎労働者の就労場所とすること

各区に生ゴミ以外の一時集積所を設け、資源ごとの分別を徹底し、再利用を計ることは人類の義務に応える道である。釜ヶ崎労働者は分別作業を担うことで人類の未来に貢献する。とりあえず、各区百人として2,400人、交代要員を入れて3,000人の就労が可能となる。経費は産業界に負担を求める大義名分もある。

* 高齢者清掃事業枠を300名まで増員されたい。

とりわけ大阪府は通年化を含め、増員に真剣に取り組まれたい。

1. 釜ヶ崎地区あるいは周辺に低家賃住宅を建設されたい。
2. 緊急性に鑑み、早急に検討の上、回答されたい
3. 以上について当連絡会と話し合う場を設けられたい。

１９９８年１月５日